

# 令和6年度 学校評価集計及び考察

八戸市立白山台小学校

集計結果		項目	評価者	十分当てはまる	おおむね当てはまる	あまり当てはまらない	ほとんど当てはまらない	分からない
努力目標等	1	努力目標 ① よく考えしっかり伝える子 ② きまりを守り思いやりをもつ子 ③ 健康にすごし体をきたえる子	教職員	4%	88%	8%	0%	0%
			教職員	8%	80%	12%	0%	0%
			教職員	4%	71%	25%	0%	0%
2	「ともに学び合い、思っていることや考えていることを話している」	保護者	21%	61%	17%	1%	0%	
		児童	42%	45%	12%	1%	0%	
		教職員	9%	75%	16%	0%	0%	
3	気持ちのよい返事やあいさつをしている	保護者	24%	63%	11%	2%	0%	
		児童	39%	48%	12%	1%	0%	
		教職員	2%	84%	14%	0%	0%	
4	話をしっかり聞いている	保護者	20%	60%	19%	1%	0%	
		児童	47%	49%	2%	1%	1%	
		教職員	13%	75%	12%	0%	0%	
5	身の回りの整理整頓や清掃ができています	保護者	10%	49%	34%	7%	0%	
		児童	46%	35%	15%	4%	0%	
		教職員	3%	67%	30%	0%	0%	
6	読書をしている	保護者	27%	46%	22%	5%	0%	
		児童	59%	30%	9%	2%	0%	
		教職員	17%	83%	0%	0%	0%	
7	きちんと家庭学習をしている	保護者	23%	55%	18%	4%	0%	
		児童	48%	36%	12%	3%	1%	
		教職員	29%	68%	3%	0%	0%	
8	自分や他の人の生命を大切にしている	保護者	62%	37%	1%	0%	0%	
		児童	77%	20%	3%	0%	0%	
		教職員	21%	67%	12%	0%	0%	
9	メディア機器の使用時間をコントロールしている	保護者	12%	45%	33%	10%	0%	
		児童	44%	41%	10%	5%	0%	
		教職員	0%	50%	38%	12%	0%	
10	目標をもち、粘り強く努力している	保護者	20%	62%	17%	1%	0%	
		児童	51%	41%	8%	0%	0%	
		教職員	17%	75%	8%	0%	0%	
11	学校のきまりや交通ルールを守っている	保護者	52%	46%	2%	0%	0%	
		児童	72%	25%	3%	0%	0%	
		教職員	8%	80%	12%	0%	0%	
12	「早寝、早起き、朝ごはん」の生活リズムが身に付いている	保護者	38%	48%	12%	2%	0%	
		児童	46%	41%	12%	1%	0%	
		教職員	13%	75%	12%	0%	0%	
13	きちんと学習用具を準備している	児童	61%	35%	3%	1%	0%	
		教職員	4%	92%	4%	0%	0%	
		児童	57%	40%	30%	0%	0%	
14	時間を守っている	教職員	17%	75%	8%	0%	0%	
		保護者	36%	53%	10%	0%	1%	
		児童	56%	31%	10%	2%	1%	
15	学校に行くのを楽しみにしている	教職員	8%	88%	4%	0%	0%	
		保護者	49%	49%	2%	0%	0%	
		児童	78%	21%	1%	0%	0%	
16	学校で友達と仲良くしている	教職員	17%	79%	4%	0%	0%	
		保護者	32%	38%	27%	3%	0%	
		児童	67%	28%	4%	1%	0%	
17	体力づくりに励んでいる	教職員	0%	54%	33%	13%	0%	
		保護者	39%	56%	0%	0%	5%	
		教職員	46%	54%	0%	0%	0%	
18	教育方針や指導の重点は分かりやすい	保護者	43%	50%	4%	0%	3%	
		教職員	34%	62%	4%	0%	0%	
		保護者	44%	49%	0%	0%	7%	
19	学年・学級だより等で子供たちの情報を家庭に提供している	教職員	30%	70%	0%	0%	0%	
		保護者	55%	44%	0%	0%	1%	
		教職員	58%	38%	4%	0%	0%	
20	保護者の意見に耳を傾けている	保護者	48%	44%	0%	0%	8%	
		児童	70%	27%	2%	1%	1%	
		教職員	17%	66%	12%	5%	0%	
21	子どもの話をよく聞いてくれる	保護者	48%	44%	0%	0%	8%	
		児童	78%	19%	2%	0%	1%	
		教職員	17%	83%	0%	0%	0%	
22	子どものがんばったことをほめてくれる	保護者	57%	35%	1%	0%	7%	
		児童	79%	19%	2%	0%	1%	
		教職員	29%	67%	4%	0%	0%	
23	学級内は、きれいに整備され、前面の壁の掲示物は精選されている	保護者	61%	34%	0%	0%	5%	
		教職員	13%	75%	12%	0%	0%	
		児童	61%	34%	0%	0%	5%	
24	学級内は、きれいに整備され、前面の壁の掲示物は精選されている	教職員	13%	75%	12%	0%	0%	

## 考 察

### 1 努力目標等について (No.1~2)

No.1 ①②は95%以上、③も80%の肯定的な評価であった。日々の学習を通して、考えることや対話への意欲が増し、表現力の向上も見られている。また、「自分がされていやなことは他の人にしない」という白山台小のスタンダードへの意識も高まっている。昨年度からの朝のあそびタイムへの取組により、休み時間にもボール運動や遊具等を使って進んで運動に取り組む姿が多く見られるようになった。

No.2 三者とも8割以上が肯定的な評価をしている。学び合いのよさは実感し始めているが、はっきりと話すことについては個人差がある。今後も、授業や行事の中で、自分の思いや考えを表現し合う場を積極的に設定し、協働的な学びにつなげ、一人一人の自己肯定感の高揚に努めていきたい。

### 2 児童の様子について (No.3~17)

No.3~5 三者ともにあいさつや返事に対する評価が高まっている。来客に対して進んであいさつをする児童も増えていることから、本校のスタンダード「あいさつ・返事の習慣化」の浸透がみえている。朝の自主的なあいさつ運動も、本校のあいさつの習慣化を支えている活動の一つになっている。身の回りの整理整頓については、整理整頓や清掃のよさを実感させながら、意識を高めていきたい。

No.6 保護者・児童・教職員ともに毎年評価が年々高まっている。7月の保護者アンケートの結果と比較しても、よい評価が12%伸びた。児童も約9割の児童が読書に親しんでいると回答している。引き続き、よみきかせや週末読書、親子読書週間など、読書に親しむための施策を継続し、家庭と連携を図りながら推進していきたい。

No.9 今年度より、メディア機器の使用時間のコントロールについての項目を追加した。児童と保護者・教職員の意識の違いが見えている。また、7月の保護者アンケートと比較してみても、肯定的な回答が5%ほど減少していた。今後も、白山台中学校区で情報を共有しながら、授業、学校保健委員会等を通して児童の課題意識を高めるとともに、保護者と連携しながら、メディアコントロールの力を高めていきたい。

No.10 学校生活では、児童が素直な心で教育活動に取り組んでいることで、粘り強さが見えてきている。また、交通安全協会の皆様の日頃の見守りや御指導もあり、交通ルールを守ることへの意識の高まりが見えている。道路をわたったり、止まってくれた車におじぎをしたりする児童が増えている。きまりを守るよさを実感させながら社会性を育み、命を守る意識や規範意識の向上を図るための取組を継続していく。

No.13, 14 児童、教職員ともに昨年度同様高い評価であった。学習の準備や時間を守ることは、見通しをもてるかどうか大きい。今後も、一人一人の実態に合わせた指導を工夫をしながら、見通しをもって行動する力を高めていきたい。

No.15 保護者・児童「当てはまる」が9割近くである。児童の居場所づくり・絆づくりに努め、楽しく学べる学校、いじめのない学校づくりを進めていくとともに、児童・保護者への教育相談を充実させていき、一人一人に寄り添う姿勢を大切にしていきたい。

No.17 体力づくりについては、毎年行っている体力テストの結果を分析し、教科体育や教育活動の中で取り組んでいき、健康な体づくりにつなげていきたい。

### 3 学校の方針等について (No.18~21)

No.18 「成長しようぜ！」のキャッチフレーズのもと、自分自身を高め成長していこうとする学級目標や行事の目標を掲げて教育活動に取り組んできたことで、児童の意識の高まりにつながっている。具体的な施策をもとに児童、保護者及び地域の方々と共に取り組んでいることに対し、今年度も高い評価をいただいている。

No.19 児童の学校生活について、参観日の懇談会や面談等をはじめ、たよりやブログ等を通して情報発信に努めていきたい。

No.20 保護者から高い評価をいただいている。今後も、学校評価アンケート、各種行事後のアンケートの評価や御意見を真摯に受け止め、広く意見をうかがいながら教育活動の充実につなげていきたい。また、気付いたことを学校に連絡していただける雰囲気大切にしていこう。

### 4 教職員の指導等について (No.22~25)

No.22 全教員で「前のめりに生き生きと学ぶ児童の育成」に取り組み、教員研修とともに、互いの授業を見合う機会を設けている成果が表れていると考えられる。今後も研修等を通して、「わかった！できた！身についた！」が実感できる授業づくりを目指し、すべての児童にとってわかりやすい授業につなげていく。

No.23, 24 高い評価を示しているが、今後も保護者と連携しながら教職員が児童理解のアンテナを高くし、児童一人一人の思いを受け止め、心に響く指導を工夫していきたい。